

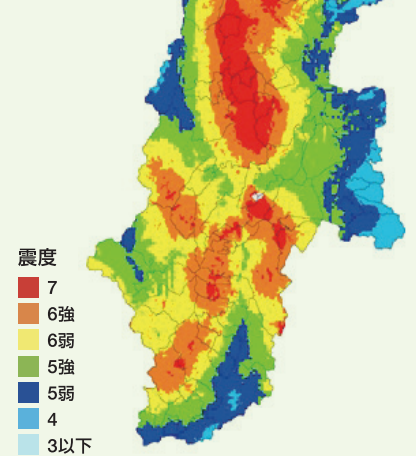
## 地震を知る

地震は自然現象ですから、いつ、どこでどれくらいの大きさのものが発生するのか、確実なことはわかりません。  
地震についてわかっている基本的なことを見直し、どんな地震に対して備えるべきかを考えることが大切です。



- 長野県に大きな被害をもたらすと予想されている地震には「糸魚川―静岡構造線断層帯の地震」、「長野盆地西縁断層帯の地震」、「伊那谷断層帯の地震」、「阿寺断層帯の地震」、「木曾山脈西縁断層帯の地震」、「境峠・神谷断層帯の地震」、「東海地震」、「南海トラフ巨大地震」があります。
- 「糸魚川―静岡構造線断層帯の地震」の30年以内の地震発生確率は高いところで30%と高くなっています。

県内の想定地震を重ね合わせた  
予想震度



出典:第3次長野県地震被害想定調査報告書

## 自分の家の強さを知る【耐震診断】

地震のことがわかったら、それに対応する自分の家の強さを考えましょう。

家の強さは診断による評点が表示されます。評点1.0が現在の耐震基準の強さに相当すると考えてください。

- 耐震診断をしてもらうと、あなたの家の強さに0.4、0.7、1.0のような点数がつけます。  
この数値は**現在の建築基準法で定められている最低限の強さを1.0とした時のあなたの家の強さの比率**を表していると考えてください。

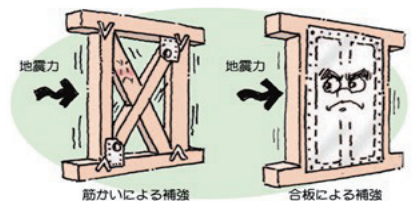


## 安心に向け今すぐ実施【耐震改修】

改修の目標を決め、実行あるのみです。

どんな方法でどんな工事をするのか、工事中はいつもと変わらず生活できるのか、工事後の見栄えは？  
納得いくまで建築士に説明してもらってください。

- 木造住宅が地震に抵抗する部分は壁です。  
そこで一般的な耐震補強工事では、この壁を強くするような工事をします。壁を強くするためには、壁の中にすじかいを入れたり、柱とはりに構造用合板を釘でうちつけたりします。



## 耐震化に加えて地震保険・共済に加入しましょう!!

地震により住宅を失ってしまった場合、生活再建には多額の費用がかかります。

公的支援もありますが、生活再建には十分とはいえません。

被災後の生活再建に備え、地震保険・共済に加入しましょう。

- 公的支援として被災者生活再建支援制度がありますが、最高で300万円の給付にとどまります。
- 地震保険・共済だけでは必ずしももとおりの家を再建できるわけではありませんが、被災後の生活再建の大きな支えになります。